

## ディスポーザ設置補助金制度のご案内

町では、農業集落排水事業(農村下水道)の普及促進および生ごみの処理による衛生環境の改善を図るため、住宅用ディスポーザの設置に対する補助制度を実施しています。快適な生活環境づくりのためにも、この機会にぜひディスポーザを設置しましょう。



### ■ディスポーザって何？

台所の流しの排水口に設置する生ごみ処理機のことです。生ごみを水と共に粉碎し、下水道に排水することができます。

残飯や野菜くず、魚の骨といった生ごみをすばやく粉碎処理できるため、流しの不快な臭いやヌメリを防ぎ、台所をいつも清潔に保つことができます。ハエやゴキブリの発生も防ぐことができ、たいへん衛生的です。

また、家庭から出る生ごみが減ることでごみ減量にもつながります。

### 住宅用ディスポーザ設置補助金

- 対象地域 農村下水道地域 東桜谷地区、西桜谷地区(野出・蓮花寺を除く)、西大路地区(蔵王のみ)、鎌掛地区、南比都佐地区(曙を除く)
- 補助対象 住宅用としてディスポーザを新規に設置する場合の費用  
※1戸につき1基を限度とします。
- 補助金額 設置費用の1/2以内の額 上限：30,000円
- 注意事項 ※設置工事は町内の下水道排水設備指定工事店に限ります。  
※補助金申請は必ず着工前にお願ひします。

◆問い合わせ先 上下水道課 下水道担当 ☎ 0748-52-6579

第64回水道週間スローガン

「大切な水と一緒に暮らす日々」

6月1日(水)～7日(火)は水道週間です。町ではこんな取り組みをしています。

私たちの暮らしに欠かせない水。町では安全・安心な水道水を供給するため、水道水の毎日の検査(濁りや色、消毒効果など)や毎月の詳細検査(飲み水に適合した基準値の確認など)を実施しています。

また、30年以内に発生する確率が70%から80%と予測されている南海トラフ大地震などの災害による断水を最小限に抑えるために、町では平成26年度より、主要な配水池間(西大路地区から日野地区一帯)を結ぶ主要幹線配水管を耐震管に取り替える工事を進めており、今年度末に完了する予定です。引き続き、主要配水管や避難所などへの配水管を更新する工事を実施する予定です。

今後も、安全・安心な水道水を安定して供給するために、施設の整備を進めていきます。

#### ◆問い合わせ先

上下水道課 上下水道担当  
☎ 0748-52-6576

気軽に相談

## 身近な人権擁護委員さん

6月1日(水)は人権擁護委員法が施行された日です。

人権擁護委員制度は、地域に根ざした活動を行っている民間の人達が、地域の中で人権思想を広め、人権侵害が起きないように見守り、人権を擁護していくことが望ましいという考えから設けられたものです。

日野町では5人の人権擁護委員さんが、小学校で子ども達を対象に人権教室を開催するなど、さまざまな啓発活動やよろず相談などで相談を受けておられます。相談に関する秘密は厳守されます。

6月23日(木)から29日(水)は男女共同参画週間です。

人権擁護委員さん(敬称略)

氏名	住所
おくだ だ けい じ 奥 田 慶 二	上駒月
ひら へ しのり こと 平 尾 典 子	鎌掛
たか ぎ ひで こと 高 木 秀 子	小谷
きた がわ じゅう いち 北 川 重 一	佐久良
の ざき ひろ こと 野 崎 裕 子	上野田

◆問い合わせ先 企画振興課 企画人権担当 ☎ 0748-52-6552



# HPVワクチン (子宮頸がん予防ワクチン) 接種の公費助成について



## 子宮頸がんとはヒトパピローマウイルス(HPV)

子宮頸がんは、女性の子宮頸部にできるがんのことです。

子宮頸がんの発生にはヒトパピローマウイルス(HPV)と呼ばれるウイルスが関わっています。このウイルスは子宮頸がんの患者さんの90%以上で見つかることが知られており、HPVが長期にわたり感染することでがんになると考えられています。なお、HPVは一般に性行為を介して感染することが知られています。

## 公費によるHPVワクチン接種の対象者

- ・接種当日に日野町に住民登録がある小学校6年生から高校1年生の女性
- ・平成9年4月2日～平成18年4月1日生まれの女性の方でHPVワクチンを合計3回接種されていない方

※詳細は下記の「HPVワクチンのキャッチアップ接種について」をご覧ください。

## HPVワクチンの接種について

現在、公費で受けられるHPVワクチンは2種類(サーバリックス、ガーダシル)あります。同じ種類のワクチンを間隔をあけて合計3回接種します。接種するワクチンによって接種の間隔が異なります。どちらを接種するかは、接種する医療機関に相談してください。なお、HPVワクチンを接種される場合は、必ず事前に接種する医療機関に予約をお願いします。接種に必要なものは、予診票、HPVワクチンを1回または2回のみ接種したことがある方は接種記録がわかるもの(母子健康手帳など)です。



## HPVワクチンの副反応について

HPVワクチン接種後に見られる主な副反応として、接種した部位の痛みや腫れ、発熱などの症状が起こることがあります。また、まれに重い症状(重いアレルギー症状、神経系の症状)が起こることがあります。

## HPVワクチンのキャッチアップ接種について (令和4年4月～令和7年3月の3年間)

平成25年4月にHPVワクチンが定期接種化されてから、接種機会は確保されていましたが、副反応について十分な情報提供ができないことから、積極的な勧奨が差し控えられていました。令和3年11月に開催された専門家の会議において、安全性について特段の懸念が認められないことが確認され、令和4年度から個別の勧奨を順次行うこととなりました。

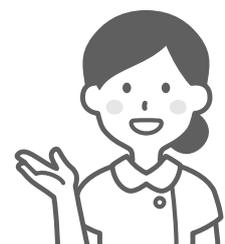
積極的な勧奨が差し控えられていた間に公費での接種機会を逃した方に公平な接種の機会を確保する観点から、平成9年4月2日～平成18年4月1日生まれの女性でHPVワクチンを合計3回接種されていない方について、令和4年度から3年間、HPVワクチンを公費で接種できます。



詳しくは、

厚生労働省 ヒトパピローマウイルス感染症

検索



◆問い合わせ先 福祉保健課 保健担当 ☎ 0748-52-6574